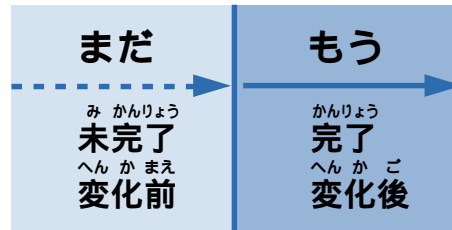


# 文-19 もう/まだ

	V
もう	A
まだ	AN
	N



## 基 本

### 例 文

- ① A: もう漢字<sup>かんじ</sup>を覚え<sup>おぼ</sup>ましたか。  
 B: はい、もう覚え<sup>おぼ</sup>ました。
- ② A: もう答<sup>こた</sup>えを<sup>か</sup>書きましたか。  
 B: いいえ、まだです。

### 解 説

- A. 「もう」は、ある行動<sup>こうどう</sup>や動作<sup>どうさ</sup>が完了<sup>かんりょう</sup>していることを表す。(例文①②)
- B. 「まだ」は、ある行動<sup>こうどう</sup>や動作<sup>どうさ</sup>が完了<sup>かんりょう</sup>していないことを表す。(例文②)

例 文

③ A: まだありますか。

B: いいえ、もうありません。

④ A: 先生はまだ教室にいますか。

B: はい、います。

⑤ A: まだ暑いですか。

B: いいえ、もう涼しくなりました。

⑥ A: 中山さんのお兄さんはもう大学生  
ですか。

B: いいえ、まだ高校生です。

解 説

C. 「まだ」は、予想される変化が起こらないで、それまでと同じ状態が続いていることを表す。

(例文③④⑤⑥)

D. 「もう」は、変化が起こって、それまでとは状態が変わったことを表す。(例文③⑤⑥)

先生へ

「まだです」は、動作が完了していない場合の答えとして使う。「まだVていません」と答えることもできる。(例文②)

当然ある行動や動作をするだろうという前提があって、それをすでに経験しているか否かを述べるときに使うことがある。行動、動作の完了と混乱しないように例文を提示するとき注意すること。

例 A: もう新しいコンピュータゲームをしましたか。

B: はい、しました。

完了/未完了を表す「もう/まだ」を練習するときには、例文②のように、「もうVました」「まだです」を使うとよい。

【関連項目】

文-11 Vました

【「れんしゅう編」の練習】

6-2 わたしは先生です